

我が社の安全週間

東京メタルパック株式会社

《はじめに》

東京メタルパック株式会社は1962年に東プレ株式会社のめっき部門として設立されました。以降、塗装・めっきを中心にカチオン電着・静電吹付塗装、リン酸被膜・クロメート処理とお客様のニーズに合わせ展開しています。主な塗装品として自動車部品（オイルパン・バンパー等）、トラック部品（ボルトやブラケット等）、熱交換器（食品用や鉄道用）等小さく軽い品物から大きく重量のある品物まで多様に塗装しています。めっき加工ではレース用ピストン、ヒートシンクなどを各自動車メーカー様へ納めています。

《安全衛生活動の取り組み例》

東プレグループの安全基本理念【「安全は全てに優先する」という人間尊重の理念を掲げ、全員参加をもって安全と健康を確保し快適職場の実現をめざす】の基、東プレの安全衛生活動と共に、メタルパック独自の方策も加え安全衛生活動に取り組んでいます。その結果10年無事故無災害を達成することができました。ここにメタルパックでの主な取り組みを紹介します。

① 5 S の推進

毎月5（5・15・25日）の付く日を『5 Sの日』とし、従業員全員で5 S活動に取り組んでいます。就業時間中の短い時間に従業員全員が5 S活動と改善の必要性を考え実施しています。

② 安全巡回の実施

各課から選出された方1名とローテーションで巡回し、自部署だけではなく他部署の安全の取り組みと状況を理解し指摘してもらい、自部署内の安全向上に繋がっています。

③ 化学物質管理委員会の実施

月1回の安全衛生委員会は勿論の事、別枠で化学物質管理委員会を設けています。塗装業では塗料・薬品を多く取扱います。その中には人体に影響を及ぼす有害物質（毒物・劇物・危険物）も含まれています。この委員会では各部署での化学物質リスクアセスメントの発表、各有害物質の性状や保管方法等の確認、また各薬剤の在庫管理を行い、各法令に則り毎月実施しています。

④ 各安全教育の実施

従業員の半数以上は何らかの資格を有しており、その有資格者に向けての繰返し教育を実施しています。その一例として、どんな資格を取得しているのか再認識して頂く事、その資格に対し責任と自覚を持つ為、胸元に資格バッジを装着、他に有機溶剤作業主任者教育や、外部の先生を招きフォークリフト資格者繰返し教育を実施しています。また無資格者には外部の有機溶剤作業主任者講習・特化物作業主任者講習等各講習会への積極的な参加も行っています。

⑤ その他

年初にその年の社内安全スローガンを掲げ、その内容から各従業員が安全宣言を考え発表し、年末にはその宣言に対しどれだけ取り組めたかの自己評価をしています。自己評価の結果を基に翌年度どのように無事故無災害に取り組むのかを考え、安全意識の向上を図っています。また、工場内安全のリスクアセスメントやKYT、ヒヤリハットの発表の他に交通安全KYT、相模原警察署から交通安全DVDをお借りして、交通安全教育を実施しております。

《今後について》

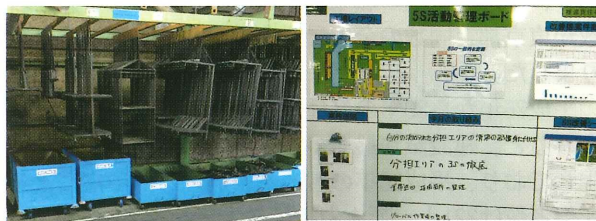
10年無事故無災害は通過点であり、今後も無事故無災害を継続して次の目標を狙います。従業員家族含め、安全意識が薄れることの無い様、安全意識の定着を確実にしつつ、よりよい職場づくりを構築して行きます。

（東京メタルパック（株）業務課 船橋 記）

〔工場内の様子〕



〔工場内 5 S の徹底〕



▼〔フォーク周辺の人が入らないようライトで表示〕



〔有資格者には資格バッジを装着〕▲

〔塗装後の製品〕

